

病理学・口腔病理学

[講義] 第2学年 前期 必修 2単位

《担当者名》 歯学部特任教授 / 安彦 善裕 歯学部講師 / 佐藤 惇 歯学部講師 / 吉田 光希 歯学部助教 / 森川 哲郎

【概要】

口腔病理学は、歯をはじめ口腔領域に発生する疾病や病的状態、その原因、発生機序、転帰などを究明することを目的とする歯科医学の一分野で、臨床歯学と予防歯学と密に関連している。病理学総論を理解したうえで、口腔領域の諸疾患に対し、診断・処置・予防法を正しく、合理的に遂行するための基礎的な知識を与える。

【学修目標】

病理学総論により、疾病観を会得させ、口腔病理学の理解への基礎作りを行う。

口腔病理学の講義により、正しい疾病観、具体的な疾患のイメージを会得させ臨床歯学の基礎作りを行う。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	1章 病因論 内因 一般的素因、個人的素因、内分泌異常、免疫・アレルギーなど 外因 栄養障害、生物学的因子、物理学的因子、化学的因子	・病気の原因は、通常、内因と外因に分けて考えられる。内因、外因によって引き起こされる疾病について理解させる。	安彦 善裕
2	2章 代謝障害 変性 萎縮 壊死 アポトーシス 代謝病 内分泌障害	・細胞が障害を受けると、細胞はこれに反応し、適応しようとする。しかし、障害が強く、また永続すると細胞は不可逆的な変化を受け死に至る。このような過程で細胞の形態や機能にさまざまな変化が現れる。	佐藤 惇 吉田 光希 森川 哲郎
3	3章 増殖と修復 細胞の増殖と分化 肥大と過形成（増生） 化生 再生 肉芽組織 異物の処理	・細胞の増殖と分化を基礎にして、各種の病変の修復に伴う細胞の再生、肉芽組織や異物処理に際してみられる器質化など、さらに種々の病的状態に生ずる肥大と増生、化生などを理解させる。	佐藤 惇 吉田 光希 森川 哲郎
4	4章 循環障害 循環器系の概要 水腫（浮腫） 虚血 充血とうっ血 出血と出血性素因 血液凝固症と血栓症 塞栓症 梗塞症 ショック 傍側循環 高血圧と低血圧	・循環系の機能を理解させ、循環系に障害が生じると細胞傷害、組織障害、臓器障害へと進展する。局所循環障害、全身循環障害を理解させる。	佐藤 惇 吉田 光希 森川 哲郎
5	5章 炎症 炎症の概説 炎症の原因と形態変化 炎症の各型 1 変質性炎	・炎症の定義と生体の防御における意義を理解させる。 ・炎症の分類およびそれぞれの炎症について理解させる。	佐藤 惇 吉田 光希 森川 哲郎

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	2 滲出性炎 3 増殖性炎 肉芽腫性炎(特異性炎) 結核症、梅毒、癩など 病原微生物と炎症 1 真菌症 カンジダ症など 2 ウイルス性疾患 3 日和見感染 4 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・炎症刺激のうちで最も重要なのは病原微生物であり、この寄生によって起こるのが感染症である。病原微生物と宿主の相互作用によって起こる感染症について理解させる。 ・歯科診療に際し、肝炎に罹患する危険性が高い、肝炎の発症、経過、転帰などを理解させ、将来の歯科診療に役立たせることを目的とする。また、AIDSについてもこの章で解説する。 	
6	6章 免疫、免疫異常 免疫とは、免疫の成り立ち 移植免疫 アレルギー反応 自己免疫疾患 免疫不全症候群	<ul style="list-style-type: none"> ・免疫の機序とその成立およびアレルギー反応について理解させる。 ・自己免疫疾患の概念、成立機序、疾患について理解させる。 	佐藤 惇 吉田 光希 森川 哲郎
7	7章 遺伝疾患、奇形 遺伝 遺伝性疾患 奇形 1 奇形とは 2 奇形の種類 (編 口腔病理、口腔領域の奇形について)	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝の基本概念および遺伝性疾患、染色体異常に基づく疾患について理解させる。 ・奇形の概念、発生原因、奇形の各型について理解させる。 ・顔面、口腔の発生を解説し、発生学的に口腔領域の奇形について理解させる。 	佐藤 惇 吉田 光希 森川 哲郎
8	8章 腫瘍 腫瘍の概説 1 腫瘍の定義 2 腫瘍の形態 腫瘍の進展 腫瘍の発生 腫瘍の病因 腫瘍の分類 1 上皮性腫瘍 2 非上皮性腫瘍 3 混合性腫瘍 腫瘍の各型 腫瘍の疫学	<ul style="list-style-type: none"> ・腫瘍の定義、形態学的特徴を理解させる。 ・転移、再発、良性、悪性などの意味を解説し、良性悪性の基準を理解させる。 ・腫瘍の発生原因、疫学などを理解させる。 ・上皮性腫瘍、非上皮性腫瘍、混合性腫瘍、特殊腫瘍などの各腫瘍の特徴を理解させる。 	佐藤 惇 吉田 光希 森川 哲郎
9	1章 歯の発育異常 大きさの異常 形の異常 数の異常 構造の異常 色の異常 萌出の異常 位置の異常 咬合の異常	<ul style="list-style-type: none"> ・歯の大きさの異常、形の異常、数の異常および発生のメカニズムについて理解させる。 ・歯の構造にあらわれる異常について局所的原因、全身的原因によりおこる異常およびメカニズムについて理解させる。 	佐藤 惇 吉田 光希 森川 哲郎

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	2章 歯の損傷と付着物 機械的損傷 化学的損傷 ブラーク 歯石 歯の着色	<ul style="list-style-type: none"> ・歯の機械的、化学的損傷による歯質の欠損のメカニズムと病理組織学的変化について理解させる。 ・歯の沈着物の沈着のメカニズム、組成や性状について理解させる。 	
10	3章 う蝕 う蝕の疫学 う蝕の病因 臨床的特徴と分類 病理組織学的特徴 う蝕の予防 4章 象牙質・歯髄複合体の病変 象牙質・歯髄複合体の概念 象牙質・歯髄複合体と歯の痛み 循環障害、歯髄充血 歯髄炎-歯髄の感染と炎症 象牙質・歯髄複合体の退行性病変 象牙質・歯髄複合体の進行性病変 象牙質・歯髄複合体の創傷治癒	<ul style="list-style-type: none"> ・う蝕の病変の特徴、病因論、分類について解説する。 ・エナメル質う蝕、象牙質う蝕の特徴および病理組織学的変化を解説し、歯科の2大疾患であるう蝕を理解させる。 ・歯髄病変を理解するために、歯髄の組織学的特徴を説明し、歯髄の退行性病変、増齢による変化を理解させる。 ・歯髄炎の特徴、分類を説明し、個々の歯髄炎に関する臨床的特徴、病理組織学的所見を理解させる。 	佐藤 惇 吉田 光希 森川 哲郎
11	5章 根尖部歯周組織の病変 根尖性歯周炎の原因と病理発生 分類 6章 辺縁部歯周組織の病変 歯周病の概念と分類 疫学 原因 歯肉病変 歯周炎 エプーリス 7章 歯科治療に伴う治癒の病理 歯周治療の病理 抜歯創の治癒 歯の骨折の病理 顎骨骨折の病理 インプラントの病理 移植・再植の治癒 歯の移動の病理	<ul style="list-style-type: none"> ・根尖部歯周組織に認められる病変では炎症性病変が最も多く、この根尖性歯周炎の発生メカニズム、病理組織学的所見について理解させる。 ・歯周組織の生物学的特徴について解説し、歯周疾患の原因、臨床的特徴について理解させる。 ・歯肉炎、辺縁性歯周炎の病理組織学的変化、転帰について理解させる。 ・歯周治療に伴う、各歯周組織の組織学的変化について理解させる。 ・抜歯創の治癒過程、合併症について理解させる。 ・歯牙の再植・移植・インプラントの臨床と病理について解説する。 	佐藤 惇 吉田 光希 森川 哲郎
12	8章 口腔の発育異常(奇形を含む) 顔面および口腔の発生 顔面および口腔の披裂 口腔・舌の発育異常 顎・顎関節の発育異常 唾液腺の発育異常 9章 口腔粘膜疾患 色調異常 物理的・化学的傷害 アフタ性疾患 感染症	<ul style="list-style-type: none"> ・顔面、口腔の発生を解説し、発生学的に口腔領域の奇形について理解させる。 ・口腔粘膜の退行性病変、感染症、血液疾患、皮膚科的疾患による口腔病変、外傷性変化について解説する。 	佐藤 惇 吉田 光希 森川 哲郎

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	免疫異常による病変 粘膜上皮の疾患 血液疾患 義歯装着に関連する病変 舌の病気 10章 口腔がん・前癌病変 前癌病変 口腔癌	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔領域に出現する頻度の高い悪性腫瘍について解説し、臨床との関連性について理解させる。 ・口腔癌、前癌病変の分類について解説する。 	
13	11章 口腔の嚢胞 歯原性嚢胞 非歯原性嚢胞 12章 口腔の腫瘍と腫瘍様病変 歯原性腫瘍 非歯原性腫瘍 唾液腺腫瘍	<ul style="list-style-type: none"> ・嚢胞とはどういう病変なのかを理解させ、歯に由来する嚢胞、歯に由来しない嚢胞について理解させる。 ・歯を形成する組織に由来する口腔領域の特異的な腫瘍として歯原性腫瘍の病理組織学的特徴、鑑別診断、臨床との関連性について解説する。 ・口腔領域にしばしばみられる非歯原性良性腫瘍について解説する。 ・組織学的に多彩な像を呈する唾液腺腫瘍について臨床所見と関連させ、病理組織学的に解説する。 	佐藤 惇 吉田 光希 森川 哲郎
14	13章 顎骨の病変 顎骨の炎症 顎・顎関節の外傷 顎関節症 顎関節炎 14章 唾液腺疾患 退行性病変および進行性病変 唾石症 唾液腺炎 Sjögren (シェーグレン) 症候群	<ul style="list-style-type: none"> ・顎骨の骨折、炎症、顎関節症について理解させる。 ・唾液腺病変について解説し、局所的病変、全身性病変の部分病変を理解させる。 	佐藤 惇 吉田 光希 森川 哲郎
15	15章 加齢に伴う口腔病変 歯の硬組織の加齢変化 歯髓の加齢的变化 歯周組織の加齢的变化 顎骨の加齢的变化 唾液腺・唾液の変化 舌、味覚の変化 口腔粘膜の変化 16章 全身疾患と口腔病変 物質代謝異常による口腔病変 ビタミン欠乏と口腔病変 内分泌異常による口腔病変	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢による歯、歯周組織、口腔粘膜、唾液腺の変化について理解させる。 ・全身的原因によりみられる口腔領域の病変との関連性について解説する。 	佐藤 惇 吉田 光希 森川 哲郎

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験（100％）

【教科書】

最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 1 病理学・口腔病理学 仙波伊知郎 他著 医歯薬出版

【学修の準備】

指定した教科書の「最新歯科衛生士教本 病理学・口腔病理学」を事前に読み内容を把握する（120分）

授業ごとに実施したプリントや教科書の内容を元に復習をする。（120分）